岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　［電子］［災害対応No.42］井原地区　平成30年7月豪雨災害に伴う応急対策業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor.A-2'	調査位置	広島市安佐北区白木町井原　神ノ倉山	北　緯	34° 35' 14.6096"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成30年 8月 6日～平成30年 8月 8日	東　経	132° 41' 22.2869"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	400.78m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-48型
総掘進長	7.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 —×— (%)　最大コア長 —●— cm　RQD —— [%]（0 20 40 60 80 100）	記事	孔内水位／測定月日	ルジオン試験 ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図（P：有効注入圧力 MPa　Q：注入量 l/min/m　（ ）：換算ルジオン値　(( )) ：限界圧力）	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度（cm／h）	孔径・孔壁保護 コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L／min)	排水量 (L／min)
1	399.98	0.80	GH-5	砂混り粘土	茶褐								GL-0.00～0.80mまで、表土。砂混り粘土で、一部で植物根を含む。					8/7	350	66／ケーシング	0.0	0	0.0	WJ 0.0	0.0
	399.18	1.60	S-6	粘土混り砂									GL-0.80～1.60mまで、崖錐堆積物。全体的に粘性分を含む。												
2	398.18	2.60	S-6	礫混り砂									GL-1.60～2.60mは、φ=2～50mm程度の角礫を含む礫混じり土砂。粘性分を含む。						50		0.0	60	0.2	W3 10.0	10.0
3				玉石混り土砂									GL-2.60～4.50mは、礫と玉石が混在する。玉石は、10～15cm程度の柱状主体。一部で土砂を挟み、土砂部は軽い指圧で変形するほど緩い。								0.0	120			
4	396.28	4.50			茶灰									8/8 4.50					45		0.0	120	0.3		10.0
5													GL-4.50～6.40mは、φ=2～50mm程度の礫を含む礫混じり土砂。粘性分を含み、指圧で容易に変形する。						40	HW／DI 66	0.2	180			
6	394.38	6.40	S-6	礫混り砂									GL-6.40mで、粘土層を確認。基盤岩との境界と想定される。								0.2	120	0.2	W3 10.0	10.0
7	393.78	7.00	##	風化斑レイ岩	灰褐	w5	h1	E	VI	d	D		GL-6.40m以深は、基盤岩。全体的に風化が激しく、土砂状を呈す。割れ目は不明瞭である。また、掘削中、漏水は確認出来なかった。					8/8	33		0.0	120			
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									